

業務用洗浄機のショウワ、秋田市に研究開発拠点

2021/8/2 17:53 | 日本経済新聞 電子版

業務用洗浄機メーカー、ショウワ（兵庫県尼崎市）は秋田市に進出することを決め、2日付で秋田県と同市の誘致企業になった。県産業技術センターの一画を借り、研究開発拠点「秋田イノベーションセンター」を設けた。当初2人でスタートし、5年後には10人に増員する計画だ。



ショウワは秋田県と秋田市の進出企業に認定された（2日、秋田県庁）

同社は2002年5月設立。20年5月には一般・医療用マスクなど衛生用品の生産を始めた。今後、売上高100億円を目指すうえで新たな事業の柱が必要になると判断。県産業技術センターの協力を得て、カニの甲羅などに含まれるキトサンを原料にした土壌改良材の開発などに取り組む。藤村俊秀社長は「ロボットやセンサーの開発も手掛けている。土壌改良材は秋田県で松食い虫の防除にも役立つ」と語った。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.